

時事の話題

G8 外相会合開催について

いよいよ明日から G8 サミット外相会合が開催される。これからの地球社会に生きる私たちにとって、新たな道筋を示すものとなり、日程が円滑に進行されることを期待している。わずかな時間になると思うが、外相には京都の心からのおもてなしに触れていただきたい。

この1年間、オール京都体制で外相会合の成功に向けて、様々な準備を進めてきた。本日夜刻には国際メディアセンター（国立京都国際会館）に京都情報センターを開設し、伝統産業だけではなく最先端の京都企業の環境技術を紹介している。世界各国のマスコミの方にアピールする絶好の機会だ。

会場となる京都迎賓館、国立京都国際会館周辺を中心に、交通規制・渋滞が予想される。また、京都企業の株主総会の集中日にあたり、26日には10社、27日は32社が、京都府警に株主総会の警備要請をしていると聞いている。ぜひ、記者の方々には広報について理解と協力をお願いしたい。

京都商工会議所の動き

知恵産業研究会の動きについて

第1回の知恵産業研究会では、本所がまとめた知恵ビジネスの考え方について、委員から「顧客に対する視点の不足」、「京都ならではの“知恵”の不足」など、それぞれの立場から発言をいただいた。また、京都のモノづくりをどのようにクリエイティブな活動に高めていくかということについて議論された。

今後の予定として、第2回の研究会を、7月23日に開催し、代表的な知恵ビジネスモデル事例を取り上げながら、まずは委員の「知恵ビジネス」に対する方向性を見いだしていく。さらに、9月上旬には「知恵ビジネス企業」の参加を呼びかけ、具体的なビジネスモデル事例を紹介しながら、交流を深める「知恵ビジネス交流会（仮称）」も実施する予定である。

京商政策フォーラムの開催について

本所の全議員を対象とした政策フォーラムを、9月23日に開催する。全体のテーマを「京都の知恵を活かす」として、「京都独自の知恵を活かした中小企業活性化策」、「教育・次代を担う人材育成」、「環境・地球温暖化対策」という3つの分科会に別れて討議する。

初めての試みとなるが、議員が主体性を持って意見発表をする場を創出することにより、逆ピラミッド型の運営につなげていく。また、とりまとめた内容によっては、国・府・市に対し、提言・要望していくなど、本所の政策提言能力を高めていく場となることを期待している。

温室効果ガス削減に向けた取り組みの中間報告

「京から減らす。CO2削減で経費も削減！」を合言葉に実施している、会員の温室効果ガス削減に向けた取り組みの一つとして、アンケート調査の集計を進めている。現時点で約640社から回答があり、現在の省エネなどの活動を報告いただいている。このうち、スタート段階で320社から、「事業者向け環境家計簿」に協力いただけることになった。

京都府、京都市の条例により排出量の報告義務がある特定事業者149社と比較すると、この320社という数字は、自発的な取り組みを進めようとする中小企業の積極的な姿勢がうかがえる。

京都市内のCO2排出量の約4割を占める中小企業への普及啓発は、中小企業と接点の多い商工会議所ならではの取り組みと自負している。今後も様々な分野で互いの強みを活かして、府・市と連携した取り組みを進めていきたい。

また、日本商工会議所においても、先週、「商工会議所環境行動計画」を策定し、CO2削減の全国的な取り組みが始まった。先行する今回の京都の取り組みは注目されており、京都の活動が全国モデルとなるよう、これからも積極的な取り組みを推進していきたい。

記者からの質問事項

門川市長がコンビニ深夜営業の自粛を表明したことに対する所見は

環境と経済の両立させることが大前提。それを踏まえて、今回の門川京都市長の提案を、本所としては積極的に受け止めたい。

京都には、守るべきものを守りながら、常に新しい生活文化・ライフスタイルを創造する提案力があると思う。本所としても全国に先駆けた環境モデル都市を実現することに、積極的に協力していきたい。それが京都の都市格向上に役立ち、ライフスタイルの見直し、温暖化防止にもつながると考えている。

一方、現在、市内に500店舗を超えるとも言われるコンビニ店舗側からの意見として、売り上げや営業コストなどに関する問題も提起されている。本所にはコンビニ店舗を営む会員もあり、そうした現場の声を施策に反映することを要望したい。

また、画一的な議論よりも、店舗・地域ごとの状況に応じて、営業時間の短縮という選択肢も考えられるという意見もある。今後設置される研究会においては、環境・景観・商業振興など様々な観点から議論が深まることを期待している。

事前に京都市から、市と会員企業の間を取り持つような要請・相談はあったか

まだ、正式には何も聞いていない。研究会への参画についての要請もない。しかし、そういった要請があれば、積極的に対応していきたい。

大規模小売店の出店には規制があるが、コンビニ店舗の出店は野放しの状態になっている。約500店舗が市内に存在し、地元商店街への売り上げや客足への影響もかなりあると聞いている。また、コンビニをライフインフラとしてどう位置づけしていくのか、そのあたりも研

究会の検討課題として取り上げて欲しい。

サミット外相会合で最も期待する効果は何か

また、次回日本開催の京都への誘致活動について経済界の方針は

今後の地球社会に生きる京都人として、新たな道筋が示されるきっかけになるのではないかと期待している。京都市が提案している環境モデル都市づくりにも貢献するのではないかと。また、外相会合は、首脳会合への議案を最終的に取りまとめる会合であり、首脳会合でのなりゆきを注視する必要がある。

次回はぜひ京都へ（首脳会合を）誘致したいと思っている。

国会が閉会したが、ねじれ状態での国会審議への所見は

国の重要な方針・施策決定の遅れは、経済・景気にも影響する。政治の意思決定のスピードは、グローバル社会の中で国の競争力にも影響し、結果的に産業界にも波及してくる。

ねじれ国会であっても重要施策については、新たな協議の機関を設けて、意思決定を早めてほしい。

以 上